

## 2 月 定 例 教 育 委 員 会 会 議 録

- 1 開 催 日 平成 27 年 2 月 5 日 (木)
- 2 開 催 場 所 新館 8 階教育委員室
- 3 出席した委員 森委員、坂元委員、廣岡委員、田淵教育長
- 4 欠席した委員 吉田委員長
- 5 出席した職員 諏訪教育総務部長、松尾教育指導部長、  
大西教育総務部次長、高田教育指導部次長、  
日浦教育指導部参事、  
小林教育総務課長、荻野学務課長、  
野村社会教育・スポーツ振興課長、  
青山学校教育課長、森山青少年育成課長、  
長谷川教育研究所長、  
芝本教育総務課副課長、中塚就学前教育担当副課長
- 6 傍 聴 者 5 人
- 7 議 事 の 要 旨
  - 開 会 午後 3 時 00 分
  - 会議録署名委員指名のこと  
森委員、坂元委員に決定
  - 1 月 定 例 教 育 委 員 会 会 議 録 報 告 承 認 の 事 項  
(事務局より会議録朗読報告)  
承 認
  - 会議公開の可否決定のこと  
専決報告 2 「市内中学校臨時講師の懲戒内申について」は非公開とし、他は公開することに決定

(専決報告)

- 1 加古川市スポーツ推進審議会委員の解職について  
(教育指導部次長より 説明)

承認

委員：委員の補充状況について教えてほしい。

事務局：この度解職した委員は加古川市体育協会から推薦された委員であったため、現在、新たな委員の推薦について加古川市体育協会に打診しているところである。なお、現在の加古川市体育協会の役員の任期が今年度末までとなっているため、審議会の後任委員の推薦は、加古川市体育協会の新体制が確定した後、平成27年5月頃となる見込みである。

- 2 市内中学校臨時講師の懲戒内申について

承認

(議事を非公開とする)

(協議事項)

- 1 幼稚園の入退園等に関する事務の補助執行にかかる協議について  
(教育総務部次長より 説明)

原案可決

委員：速やかな事務の引継等を進めてもらいたい。

- 2 「教育アクションプラン2015」の策定について  
(教育総務部次長より 説明)

原案可決

委員：現場の教員や保護者等に対してアクションプランの内容を広く周知するよう努めてもらいたい。

事務局：アクションプランについてはPDF版をホームページにアップするなど、情報提供に努めているところであるが、広く浸透しているとは言えないことも事実である。そのため、別に啓発用のリーフレットを作成し、全家庭に配付するとともに、どの学校においてもリーフレットを活用した職員研修を実施し、教育の方向性について共有を図っている。引き続き、より一層多くの方にアクションプランの内容を知ってもらうことができるよう取り組んでいきたい。

- 委員： 中学校におけるALTの配置状況を教えてほしい。また来年度はALTの人数は増えるのか。
- 事務局： 平成26年度は年間17時間程度の配置となっている。次年度は年間24時間に拡充する予定であり、それに伴い、ALTの人数も増加することになる。
- 委員： 情報モラル教育の取組みについて具体的に教えてほしい。
- 事務局： 若手教員、各学校の教務担当主任に対して情報モラル研修を実施し、その受講者が生徒・児童に対して研修を行っている。また、ユニット活動の中にも情報モラル教育を取り入れ、その成果を教育フォーラムで発表してもらう等の取組も進めている。
- 委員： 情報モラル教育は、保護者の関心が非常に高いと思われるので今後も積極的な取組みをお願いしたい。
- 委員： 『ことばの力』配達人とは、具体的にはどのような方を想定しておられるのか。
- 事務局： 学校からの要望に応じた適切な人選を進めているところであるが、アナウンサーや新聞記者等、ことばのプロのことを指している。
- 委員： 『ことばの力』配達人は誰を対象にした事業なのか。具体的な活動内容も含め、教えてほしい。
- 事務局： 基本的に対象を子ども達とした活動であり、抑揚のつけた読み方の指導や早口言葉によるレッスン、取材の方法等、それぞれプロとしての立場から指導を行ってもらっている。
- 委員： 「命を大切にし、こころ豊かな子ども」の表現は、文法的に「命を大切にすこころ豊かな子ども」の方が適切ではないか。キャッチフレーズとしてこの表現をしているということであれば問題ないので必ずしも修正する必要はないが、今後、整理してもらいたい。
- 委員： アクションプランの策定は非常に重要であるが、事業実施の結果に対するチェックや振り返りがさらに重要であると考えている。

事務局：本日ご欠席の吉田委員長より「教育アクションプラン 2015（案）」に対する意見を2点いただいているので紹介させてもらいたい。まず1点目は「地域における身近なスポーツ環境の整備」の項目に関して「地域にCDとラジカセを配付する等、教育委員会としてラジオ体操の普及啓発について取り組んでいるが、その旨を記載する必要はないか。」とのご意見をいただいている。2点目は、「文化財の保護と活用の推進」の項目に関して「学校教育と連携した文化財の啓発推進に取り組んでもらいたい。」とのご意見をいただいている。

委員：1点目のラジオ体操の件については、既存の「生活にスポーツを取り入れるきっかけづくり」の表記の前に「ラジオ体操等、」という言葉を入れることにより、委員の思いが反映できるのではないか。

事務局：1点目については、先ほどの意見にあったとおり表記を修正することとしたい。また、2点目についても今後検討を進めていきたい。

委員：ラジオ体操の推進には賛成であるが、ラジオ体操の効果についてあらためて教えてほしい。

事務局：スポーツ推進員の研修会の中でラジオ体操の機能について話があり、講師の方から「10年間ラジオ体操を続けている方とラジオ体操をしていない方とでは、体力年齢が20歳違うというデータがある。」という説明があった。

委員：ラジオ体操には、体育の授業における体操そのものとしての意味合いや、長期休業中における生活習慣のリズム作りとしての意味合いに加え、地域での世代間交流事業としての意味合い等、複数の効果があると言われている。また、職場においては、1日のはじめに実施することにより、職員の士気や同僚性を高める効果もあると考える。今後、ラジオ体操を学校現場へどのように取り入れていくかについては引き続き検討を進めたい。

### 3 教科用図書加印採択地区協議会規約の策定について

(教育指導部参事より 説明)

原案可決

委員：従来は公立高校の学区と教科書の採択地区が一致しており、共通の教科書で学んだ子ども達が公立高校に進学していたため、公立高校にとっては非常に指導しやすいという側面もみられた。現在は、公立高校の学区拡大を含め、各種制度の過渡期であるため、これまでのやり方を踏襲しながら共同採択としたことは妥当であると考えている。

事務局：本日ご欠席の吉田委員長より、1点ご意見をいただいているので紹介させてもらいたい。「規約の文言については特に問題はない。ただ、協議会から各市町教育委員会への報告については、経緯・内容を含めて市民の理解が得られるよう、運用面において検討してもらいたい。」とのご意見をいただいている。

委員：教科用図書の採択に関しては、様々な意見があることを承知している。制度面、運用面等において工夫改善していく余地は残っているため、色々な意見に耳を傾けながら本市の方向性を確立していきたいと考えている。

### 4 平成27年度加古川市立加古川養護学校高等部第1学年の生徒定員について

(教育指導部参事より 説明)

原案可決

委員：定員は毎年決めることとなっているのか。

事務局：毎年決めることとなっており、中学部からの進級や他市町からの編入等を考慮し定めている。

委員：ある程度次年度の生徒数は見込めるのか。

事務局：転出入が多い時期でもあるので、想定外の転入を考慮し、多少余裕をみて定員を決定している。

委員：加古川養護学校の研究発表会が開催されたと聞いているが、その状況等について教えてほしい。

事務局：参観された方からは、「1人ひとりの個性に合わせた教育がなされていた。」という感想をいただいている。

- 次期定例教育委員会予定日のこと  
2月26日（木）午後3時30分から開催することに決定

- 教育委員諸報告

〔廣岡委員より〕

- (1) 四日市市教育委員会への行政視察について

学校の規模適正化に関して5年先、10年先の将来を見越した細かい分析をされていたことが印象的であった。

〔坂元委員より〕

- (1) 四日市市教育委員会への行政視察について

本市でも「ユニット12」に取り組んでいるところであるが、四日市市でも幼稚園の子どもが中学生と一体となって防災訓練を実施するなど、縦のつながりを意識した教育を実践していた。

- 教育長諸報告

- (1) 四日市市教育委員会への行政視察について

四日市市には、公害等の環境問題のイメージがあるが、それらをしっかりと受け止めた上で、自分達が前を向いて克服した過程や改善状況をアピールされていることに、たくましさや未来志向の考え方の発信に成功していると感じた。

- (2) 平成26年度第3回兵庫県都市教育長協議会について

「主幹教諭の推薦年齢の引き下げについて」、「学校教育における子供の貧困対策について」、「いじめ問題の重大事態の対応について」、「外国人英語指導助手（ALT）派遣に係る業者との契約方法等について」、「学校図書館の活動支援に係る人員について」、「スポーツクラブ21の現状と課題について」、「スクールバス運行について」の7つの議題について、情報交換を行った。

- 教育総務部長諸報告

- (1) インフルエンザ疾患等による学級閉鎖の状況について

インフルエンザ疾患等による学級閉鎖は、1月以降のインフルエンザ流行により増加している。

以上、1件について報告

○ 教育指導部長諸報告

(1) 平成 26 年度 加古川市教育研究所研究員「研究発表会」の開催について

「生きる力をはぐくむ確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成」をテーマに、17名の教師が指導主事の助言を受けながら研究してきた成果を発表する。

日 時：平成 27 年 2 月 17 日（火） 13：00 ～ 16：40

場 所：加古川総合文化センター 2 階 大会議室、教育研究所 視聴覚室

内 容：研究発表と講演

(2) 平成 27 年度高等学校等入学者選抜に係る日程について

公立高校入学者選抜について、推薦入学・特色選抜・多部制 I 期試験は 2 月 14 日、学力検査は 3 月 12 日に実施する。

(3) 第 27 回加古川カップ綱引大会の開催について

加古川市体育協会の主催、加古川市教育委員会の共催でチャンピオン部門から初心者対象部門までの 7 部門、小学生から大人までが参加して開催する。

日 時：平成 27 年 2 月 22 日（日） 9：50 ～ 15：30

会 場：加古川市総合体育館

(4) 平成 26 年度中学校卒業式への教育委員会からの出席について

3 月 10 日（火）、市内中学校卒業式への出席をお願いします。

委 員：近隣市町の中学校卒業式の日程を教えてください。

事務局：事務局において確認し、各委員へお知らせする。

(5) 小学校、中学校の校歌の CD について

小学校、中学校の校歌を 2 枚の CD にとりまとめた。

委 員：各学校には CD の配付を行うのか。

事務局：現在のところ、配付の予定はない。教育研究所において貸出を行っている。

以上、5 件について報告

○ 閉 会 午後 4 時 15 分